

## み言葉は

いのちの言葉

イザヤ 66, 13

**母がその子をなくさめるように  
わたしはあなたたちをなぐさめる**

幼い子供が泣きながらお母さんの腕の中に飛び込むのを誰もが見たことがあるでしょう。何が起きても、母親がその子の涙をぬぐい、優しく抱いてあげると、子供にはすぐ笑顔が戻ります。子供には、母の存在と愛があれば十分だからです。

経験してそれを伝える

**神様も私たちに対して  
母親のようにされます。**

「神様を見る」ためには、目と心を開く必要があります。神様の愛とつくしみを体験すればするほど、苦しむ人や試練の内にある人にそれを伝えることができ、私たちはなぐさめをもたらす神様の道具とされるでしょう。

苦しみをともに成る

キアラ・ルービックは書いています。  
「主よ、孤独な人を皆、私に与えてください。世界を飲み込んでいる孤独に対して、あなたが感じておられる悲痛な思いを、私も感じています。全ての病める人、孤独な人を私は愛します。この人々の涙を誰がぬぐうのでしょうか。死の影が忍びよるこの人々と誰と一緒に泣くのでしょうか。絶望したその人の心を誰が抱きしめてあげるのでしょうか。」

あなたの腕となって

私の神よ、この世にあって、私をあなたの愛の『目に見える秘跡』、あなたの愛の証し人として下さい。世界中のすべての孤独を抱きしめ、愛の火で燃やし尽くす、あなたの腕とならせて下さい。」



## いのち

ぼくは、オマールで15歳です。

いっしょならできる

学校でひとりの子は体育の時間になにもすることができず、他の子がみなからかって笑いました。どうしていつもこういう態度をとるのかわかりませんでした。

もしぼくがその子だったら、そんなふうにされたらいやだからです。

そのときぼくはその子にいいました。「やってごらん。きっとできるよ。」彼は答えました。「やろうと思ってもできないんだ。他の子たちをみてごらん。ぼくをからかっている。」

ぼくはその子ができるまで助けてあげました。そのときからぼくたちが生きていくことを分かち合うようになりました。いのちの言葉をいきて、勉強も助けあうようにしています。

私たちも似たような経験があるでしょうか？

